



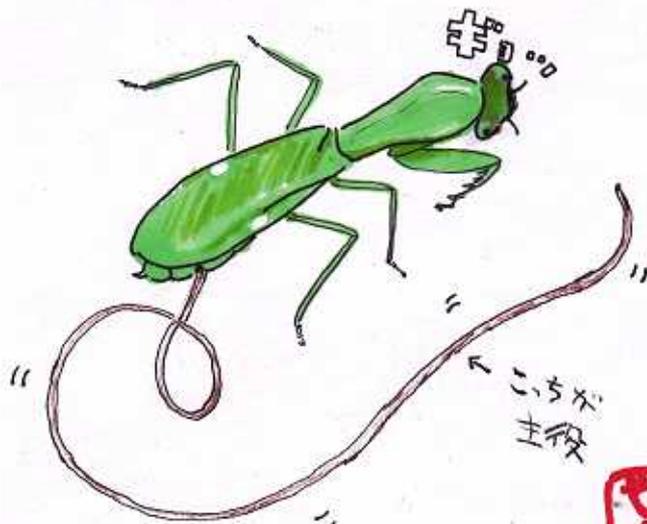
ニホンザラ ハリガネムシ号

私が子どもだった頃 高宗台（六浦三丁目） 廣瀬 健

私は、太平洋戦争の最中、日本各地がB29という名前の米軍機の襲撃を受け始めた昭和19年(1944)に、大道に生まれました。この辺りには、古くから続く旧家が3軒ありました。物心がつく前には戦争は終わってしまっていたので、戦争中のことは全く分かりませんが、戦後の荒廃した故郷、大道のことは、今でもはっきりと覚えています。

昭和25年～30年頃から、戦地から引き上げた方や、畑地に建てられた住宅に入居した人たちが大道の人口が増えはじめました。大道小学校の教室も足りなくなり、午前と午後に分けて二部授業が行われました。私が入学した時には、ひとクラス60名で6クラスでしたが、卒業する時には7クラスに増えていました。教室不足は、3年生くらいまで続きました。

人口が増えたため侍従川に生活廃水が流入して川の汚れが目立ち始めたのも、この時期のように思います。また、六浦原宿線は大部分が舗装されていませんでした。



ニホンザラハリガネムシ

学名 *Chordodes japonensis Inoue*

体長：100ミリ

色はクリーム色や茶色で、体表はキューティクルで覆われている。

孵化した幼虫は、ボウフラなどに食べられ、体内に寄生し、さらに、蚊 トンボ カマキリのように渡り歩く。

カマキリにたどりついた後、腹を破って成虫として出てくる。その時にカマキリが水辺に近づくようにコントロールするらしい。

解説：山田 陽治²³

瀬戸の京浜急行のガードから、現在のスーパー横浜屋の辺りまで一車線のコンクリート舗装でしたが、それより先の西大道、朝比奈の相武隧道、上郷、原宿まで、あちこちに大きな穴があく悪路が続いていました。冬の乾燥期や雨の降らない時などは、砂埃が舞い上がり、道路の近くの家は随分迷惑したようでした。

しかし、交通量は少なく、たまに神奈川中央バスや米軍の車が走る程度でした。バスの中には木炭車も混じっており、鼻欠地蔵の前で運転手が降りて車の後方にある釜に木材を補給して朝比奈の峠をのぼって行く光景を覚えています。地元の住人が田畑への往来にリヤカーをひいて通るのどかな田舎道で、お年寄りが通りすぎりに、モグラに掘り返されたり、台風で荒れた道を道普請している姿もありました。私の家から畑や田圃越しに六浦原宿線や大道小学校が見渡すことができ、たまに、追浜にあった富士モーターという自動車工場での修理するための軍用の車や消防車などの緊急の車が通ると珍しくて、兄と走って見に行ったものです。

大道は、武陽金澤八勝夜景の図など廣重が描いた金沢八景の景勝地をはじめ、現在は、かなりの部分を埋め立てられましたが平潟湾が近くにあり、海と山が隣接する極めて自然豊かな地でありました。その中でも、大道から朝比奈にかけて続く畑や田圃、人家と田畑や山・丘がうまく調和している里山、そこを流れる侍従川は、私をはじめ子どもたちの絶好の遊び場でした。遊びの種類はたくさんあって、そこに存在するあらゆる物を遊び道具に使用しました。侍従会の会報にも先輩諸氏からたくさん紹介されていますが、侍従川での魚釣り遊び、里山での戦争ごっこ遊び、田畑周辺でのかくれんぼなど数え切れない遊びが脳裏によみがえり、私自身が懐かしく当時を思い起こして、読ませて頂きました。

この紙面で一つご紹介したいことは、私たちの住む町の呼び方や名称が時代とともに変わっているということです。例えば六浦は、今では、むつうらと言いますが「むつら」であり、大道は地元の方は「でいどう」と言っていました。朝比奈は朝夷奈(あさいな) 高舟は高宗(たかぶね)又はたかむね)という地名が以前は使われていました。この六浦周辺がどのように変わって行ったかを、後



昭和4年3月 明堂橋付近

写真提供 廣瀬 隆夫

2 / 23

いくつかご紹介いたします。

まだまだ、沢山の思い出や経験した事柄があり、侍従会の会員である甥の隆夫から投稿を依頼され、当時のことを出来るだけ多く披露するつもりでしたが、事前準備もな
いまま記述に及び、取り留めのない内容となりましたがご容赦ください。失われた
部分が多い、わが故郷を「ふるさと侍従川に親しむ会」の方々により今後も維持管理
して頂くことが、残された「自然を守る手段」であると、私も確信しています。橋上
から孫の手を引いて侍従川を覗く方々に「昔の侍従川はもっと綺麗でした」などと言
訳を言わなくても良い状態に、現在の侍従川は甦っております。日頃の地道な活動に
は大変感謝しております。誠にありがとうございます。会員各位には、長くこの地に住
む者として心より御礼申し上げます。

【六浦（むつら）の主な変遷】

- 1147 文久 3年 常福寺の阿弥陀堂造営(阿弥陀三尊像は県の重要文化財で今は宝樹院が管理)
- 1241 文治 2年 朝夷奈三郎義秀が一晩で切り開いたという逸話がある朝比奈切通しが開かれる
- 1422 応永29年 称名寺造営費用の捻出目的で関所を設置(エールコーポレーションの辺り)
- 1873 明治 6年 三分学舎(六浦小学校の前身)が開校する
- 1889 明治22年 三分村と釜利谷村が合併、後に朝比奈村が加わり六浦荘村ができる
- 1900 明治33年 池子トンネル(六浦 逗子間)が開通
- 1911 明治44年 白山道トンネル(六浦 釜利谷間)が開通
- 1930 昭和 5年 湘南電気鉄道(今の京浜急行 黄金町 浦賀、金沢八景 逗子間)が開通
- 1944 昭和19年 六浦原宿線・相武隧道が開通
- 1944 昭和19年 大道小学校が大道国民学校として開校
- 1956 昭和31年 朝比奈 鎌倉間の道路が開通
- 1963 昭和38年 大道中学校が開校(六浦中学校から分校)
- 1978 昭和53年 高舟台小学校が開校(大道小学校から分校)

ハゼ釣り大会

【活動報告その1】

10月11日(土) 9:00~16:00

於: 汐見橋、ちとせ園

記) 深沢武

10月11日、ハゼ釣り大会、56人の参加がありました。釣りの経験が無い子もいて、針と糸をつけるところから悪戦苦闘していましたが、いざ、釣り始めると遊びの心に関しては経験豊富、水を得た魚のように、釣ることを楽しんでいる様子でした。



途中で、餌が足りなくなり、追加購入することになりましたが、待っている間も時間を無駄にせず、工夫をして、ダンゴ虫などを針につけて釣っている子もいました。私もやってみましたが、これが結構釣れたので驚きでした。



釣った魚をその場でさばいて食べる。これがまた、子どもの経験として最高ですね。

自分が釣った魚をどうやったら食べられるのか、遊びと生活が結びつく時間ですね。

生活力が豊富なのは女の子のほうが多かったかな。お母さん方の協力のもと、釣った魚がおいしい天ぷらになり、みんな普段以上にほおばっていたんじゃないかな。



この日の大物賞だった、ボラ、食べることについては賛否両論(?) ありましたが、刺身と天ぷらにして味比べ、これがなかなかのものでした。(ねっ!)

我が家としても、毎年たのしみな行事となっています。



前原詩乃



10月クリーンアップ その1

【活動報告その2】

10月25日(日) 9:00~11:00

於: 大道橋~三信住宅入り口

記) 細川一雄

参加者: 八木場紀元、角田繁、村田章夫、細川一雄、外1名(計5名)

小雨が朝から降っていたため、延期の連絡を回したところ、「小雨でもすぐ止むから草刈りを実施するべきで、もう家を出ている」との強い要望(反政府軍のクーデター)があり、小雨降る中、やむなく出勤。

地蔵前橋から川に入り、上流の三信住宅下までの草刈りとゴミ拾いを実施。それより上流は少し高い堰があるため上れずそこから折り返して下流に進む。

大道橋の下まで草刈りとごみ拾いを行って11時頃に解散しました。



山田陽治

大道コミュニティハウス文化祭

【活動報告その3】

10月25日(日) 9:00~16:00

記) 山田陽治

参加者: 伊藤、河本、飯村、金子、米塚、柴田龍&華、白石匠&守、山田(陽)

10/25(日)大道コミュニティハウス文化祭に、侍従川水族館を出展しました(コミュニティハウス文化祭自体は10/24、25開催)。

午前中は雨が降っていて肌寒い天候でしたが、学生部・ジュニアのメンバーが生き物の解説を紙に書いたり、見に来たお客さんにも解説するなど頑張っていました。



地域の人(お客さん)たちも、「こんなに生き物がいるの?」とか「昔はいっぱいいたんだよね」とか「へえ~詳しいね」とか、解説している学生部&ジュニアのメンバーに語りかけていました。

展示した生き物: アオダイショウ、クサガメ、ミシシッピーアカミミガメ、コイ、ドジョウ、メダカ、スミウキゴリ、モクズガニ、ミゾレヌマエビ、カワトンボ、コオニヤンマ、コヤマトンボ、コシボソヤンマ、ギンヤンマ、シオカラトンボ、ヘビトンボ

10月クリーンアップ その2

【活動報告その4】

11月1日(日) 9:00~12:10

於: 大道東橋~ 第二山王橋

記) 細川一雄

参加者: 長橋輝明、西澤博厚、八木場紀元、角田繁、村田章夫、金子英司、細川一雄
(計7名)

先週小雨のため延期になった10月度クリーンアップを実施。当日は青少年指導員主催のウォークラリーや七五三などと重なり参加メンバーも少なかったです。

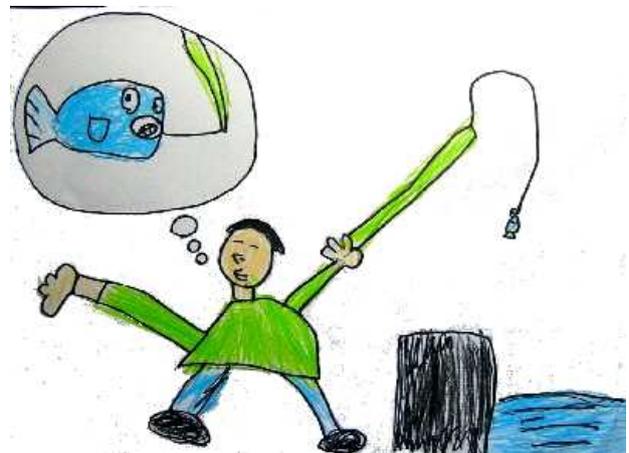
夏の間、蛭や昆虫などの成長のため草刈りを中止していましたが、草も殆ど枯れてきて虫たちもいなくなった下流域の草刈りを久しぶりに行いました。

大道東橋から川に入り、第二山王橋までの草刈りを行いました。人数が少ないうえに距離も長いため今回は12時を少し過ぎるまで作業が続けられたため、終了後メンバーはだいぶ疲れた様子でした。

侍従会はぜ釣りギャラリー



廣瀬ちはる: マハぜつれたよ~



廣瀬颯大: ちっちゃいなあ~



廣瀬あかね: おどろいたあ~

11月クリーンアップ

【活動報告その5】

11月29日(日) 9:00~11:30

於:第二山王橋~ブックオフ

記)細川一雄

参加者:長野政治、角田繁、村田章夫、廣瀬隆夫、石井勝(初参加)、草野将人(初参加)、中学生1名、細川一雄(計8名)

この1~2ヶ月の間に殆どの草が枯れてきて、草が緑色から茶色になり、川の様子もすっかり変わってきました。今回は初参加の2名を迎え作業を実施しました(ライオンズマンションの青少年指導員の石井さん、追浜から来ていただいた草野さん)。

この頃は、今までの参加者が体調不良等で減少している中大変助かります。このままでは、人数が徐々に減少して草刈り作業もいずれ不可能になる恐れがあります。是非この会の発足の主旨を理解していただき参加をお願い致します。

この日は2班に分かれ、1班は中流域で草刈りを行っていなかった第二山王橋~大道橋までの間の草刈り作業とゴミ拾いを実施しました。すっかり枯れてしまった数珠っこや水草をカマで刈り取り、引き上げやすいように小さな束にして紐で結びました。当日は車が手配できないため次回のクリーンアップに引き上げられるように橋の下などに積んでおきました。

他の1班は横浜市の管理区間である、大道橋~上流のブックオフまでの間のゴミ拾いを行いました。相変わらずゴミは多く、電動式ドライバーも回収し、土のう袋5袋分を回収しました。また当日は野島公園で開催される「火おこし&焼き火料理」の催しと重なったため、分担作業が終わり、何名かは野島公園に移動しました。

また、作業開始時刻は9時となっていますので、時間を厳守いただきたくお願いします。作業開始時に倉庫の鍵をかけてしまいますので、開始後の倉庫の開閉等がありますと作業に支障が出てしまいますのでよろしくお願い致します。



行事詳細や中止のお知らせなどのスムーズな伝達のために、メーリングリストに登録してください。登録については山田(陽)まで yohji-y@ezweb.ne.jp

火おこし&焼き火料理

11月29日(日) 於:野島

【活動報告その6】

記)小野寺り

今日は子ども達も私も待ちに待った、何でも焼きの日。前日から、子ども達、「りんご焼いたら、どうなる?」「バナナは?ね~ね~」「何焼くの?ね~何焼くの?」ばかり...私は、天気予報を見ながら、天気持つか?寒そう、ホカロン持って行こう。



朝起きると、同時にあ~寒いよ、海沿いもっと寒いよ、と思いながらも、本当はポップコーンが食べたかったので、朝から3件の店を回っても無く...仕方がない、諦めて野島へ向かいました。

車から降りた瞬間寒い!寒い!一人なら確実に車に戻っていました。子ども達に、「早く早く!もう遅刻だよ。」

小走りで、みんなの元へ...火の起こし方をちょうど、山ちゃんが説明していました。

野菜切りの班、火起こしの班に別れ、はい!スタート!!

私は、相変わらず、口だけの指導でした。

やっと火がつき豚汁の準備、なのに鍋が小さい。慌てるママ達。そこで、山ちゃん「大丈夫、今から、OBの子2人が大道小に寄って持て来てくれるから」

持て来た2人を見て、えっ!駅前のテキ屋の兄ちゃんだ!周りの子ども達&大人達の少し戸惑った顔が印象的でした。

さすがプロ、ワタル君の鉄板料理はおいしかった。是非夏のキャンプの大人の夜食時に呼びたいです。

今回の会での発見は、野島には食べられるキノコ(ムラサキシメジ)がある事(キノコ名人飯村君のおかげ)と山ちゃんが、まだまだ若いって事(テツヤ君と柔道で遊んでいた)。

料理:豚汁(うどん)、焼き肉、焼きそば、お好み焼き、焼き芋、焼きバナナ、焼きリンゴ、焼きマシュマロ、バームクーヘン



冬の森探検 ～自然観察&リース作り～

【活動報告その7】

12月13日(日) 9:00～16:30

於: 大道小学校～朝比奈切通し～十二所果樹園

記) 長崎和則

侍従川源流 朝比奈の森に入る『冬の森探検』に参加しました。

当日は曇りで冷たい風が吹いていましたが、47名とたくさんの方が参加され、侍従会の他に、よこはま子どもと自然のネットワーク(よここネット)、横浜の水辺と緑を考える子ども会議、ボーイスカウト24団カブ隊&ビーバー隊、東海大学教養学部、玉川大学農学部の方の参加が有りました。

冬の森探検と聞くと森の奥の方までハイキングするのかなと思いますが、意外と面白い遊びがたくさん有り、和やかで楽しい活動でした。

探検は大道小学校を9時半ごろ出発し、朝比奈切通し入口ではアオキの実を飛ばして遊び、アリジゴクの穴に息をかけてアリジゴクを見つけました。切通しを越えて三郎の滝周辺ではハリガネムシ、ヌマエビ、ヤゴ、カゲロウの幼虫などの水の生き物やカミキリの冬虫夏草(ただのカビ?)、アラゲクラゲなどを見つけました。滝から少し離れた場所ではオナモミを服に付けて遊び、竹を切り出して竹笛を作ってみんなで鳴らしました。

十二所果樹園の頂上では昆虫の標本づくり教室があり、貴重な標本を使って標本の形を整える展脚という作業を子どもたちが体験しました。みんな良いセンスでした。そして、標本はその場所にこんな虫がいたということを後世に伝える大切な記録だということを学びました。採ったツルや木の実を使ったリースを作ったり、竹の弓矢を作ってもらって、竹の矢を飛ばして遊び、昼食をとりました。



昼食後は木に登ったり、秘密の場所へみんなで行って木にロープを掛けてブランコで遊んだり、カニムシ探し、ツル採り、弓矢飛ばしをして楽しく遊びました。

熊野神社で大きいイチョウの木やスギの木を見て、鳥の巣を見つけて4時ごろ解散しました。



子どもも大人もそれぞれ好きなことをマイペースに行うことが出来たととても楽しい1日でした。

来年もまた参加したいです。



新連載イラスト

侍従川の集い

尾上伸一

長崎光則



通信 - 森の忍者より

飯村優介

晩秋のキノコ

11月中頃になると朝比奈の雑木林も色づき、冬眠する生き物たちは姿を隠していきます。梅雨時から中秋はキノコの種類が多く、発生のピークが3～4回くり返されます。食用キノコも毒キノコもたくさんです。晩秋になると発生する種類はぐっと少なくなります。良く見られるキノコを紹介しします。

ムラサキシメジ

美しい紫色、古くなると色があせ、薄茶色をおびる。傘は6～10cm、柄は4～8cm、茎の径10～15mmで根元はふくらむ。落葉を分解する。林の中にきれいな菌輪をえがく。歯切れがよく美味しい食用キノコ。生食は中毒をおこす。

食べ方 とても良いだしが出るうえ口あたりが良い。やや強い臭いも肉や魚介類と一緒に加熱するとなくなる。鍋もの、すき焼き等が他の食材も引き立てて旨い。



ムラサキシメジ △
(食・生はX)

エノキタケ

天然のものはナメコのような茶色系で成長すると2～8cmの傘になり、柄もしっかりして茎の径2～8mmになる。はじめて見る方はびっくりするが、11月中頃から4月初め頃発生しカキ、エノキ、コナラ、ヤナギ、ケヤキなど数々の広葉樹の枯れ木、切り株に束になって生える。

食べ方 天然のものは、ぬめり、香りが良い。とても良い旨みが出るので、和風から洋風までどんな料理にも合う。煮る、焼く、炒める、汁物と万能のすぐれもの。



エノキタケ (食)

シイタケ

三浦半島にかけ、この地域では11月頃から4月頃まで発生が多い。真冬は成長が遅くなる。天然のものは傘が25cmに開いたものもあり、15cmクラスは時々見かける。シイ、クヌギ、コナラなど広葉樹の倒木や切り株に発生する。

食べ方 天然ものは原木栽培の上等品と同じ上質の菌切れと風味が楽しめる。風邪やインフルエンザ、ガン等の病気になりにくくし、持久力を高める。



ニガクリタケ

強毒。晩秋でも発生する。枯れ木に発生する毒キノコである。傘は2～5cm、黄色系でやや硫黄色。柄は5～12cm。全体に強い苦みがあり、かむとまずい。カエントケ以外は触ったり、かんだりしても体に飲みこまなければ、中毒はしないが、見分けかたは解りやすい。



「地域に根ざす技術を生かしふるさと大道の風景をつくる」の概要

岡 望

「ふるさと大道の風景をつくる会（会長 相川澄夫）」は、「ヨコハマ市民まち普請事業」コンテストに「地域に根ざす技術を生かしふるさと大道の風景をつくる」という内容で提案をしています。当初は、「ふるさと侍従川に親しむ会」で申請していましたが、幅広い参加を求め、また活動の広がりをアピールするために上記の会を作りました。侍従会は、協賛団体として活動をお願いしております。

現在、9つの団体から提案が出てきており、最終的に5つくらいに絞られることとなります。1次コンテストは平成21年6月に行われて好成績で通過しています。今後は12月10日に第2次提案書を提出し、平成22年の2月7日に2次コンテストが行われます。

選出されると、横浜市から整備活動のための助成金を頂けます。



【活動内容】

- ・伝統的な井戸掘りの手法である「上総掘り」で井戸掘りを体験し技術を継承する。
- ・掘った井戸は、大道小学校のとんぼ池や防災用の水源として活用する。
- ・とんぼ池をエコアップや水の循環、ソーラー発電などの環境教育に活用できるように整備する。
- ・みんなが親しめる、ふるさと大道村の風景を、とんぼ池周辺に作る。
- ・使用する材料(竹など)は地元のものを使い、大道小学校のOBを中心に「わが手で学校にシンボルを残す」

を掛け声に広く地域の参加者を募り、多くの人が協力して工事を行う。

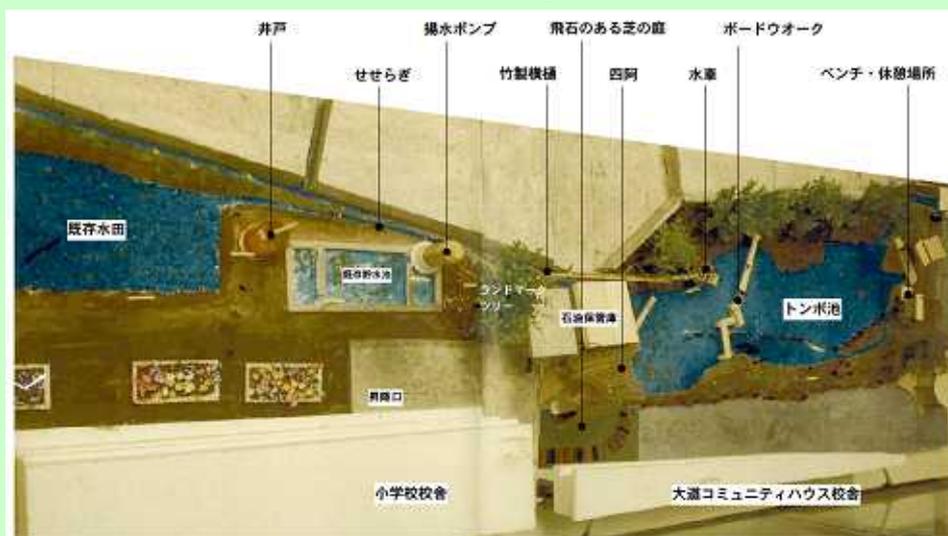
【協賛団体】

- ・ふるさと侍従川に親しむ会・大道町内会・大道小学校PTA・大道消防団第8分団

【スケジュール】

- ・平成21年4月 整備提案の申し込み
- ・平成21年6月 1次コンテスト
- ・平成21年10月 活動懇談会
- ・平成21年12月10日 第2次整備提案書の提出
- ・平成22年1月18日 現地見学会
- ・平成22年2月7日 2次コンテスト(ヨハマ・クリエイティブ・センター3F)
- ・平成22年3月～平成23年3月末 整備の実施・維持管理

ふるさと大道村のURLはこちら <http://daidomura.web.fc2.com/>



計画地ジオラマ

横浜市立大道小学校6年生制作によるトンボ池周辺の「思いを形にしたジオラマ」

虫のきょういく座談会

～小さい生き物と大きい生き物～

参加者：山田(陽)、大場、滝本、成島、佐野

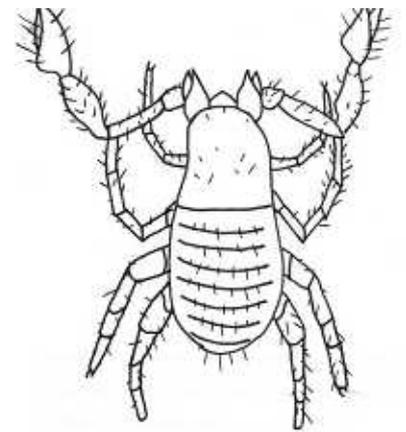
冬の森たんけんがおこなわれた日の夜、ココスに若者数名が集った。大場氏・滝本氏は侍従会初参加である。両氏は土壌生物を研究している。二人が生き物屋ということもあり、座談会は大いに盛り上がった。しかし、小さな土壌生物を愛する大場氏に対し、山田氏は大きい生き物の方が魅力的だと主張！これがきっかけとなり今回の『虫のきょういく座談会』は、『虫のきょういく討論会』へとヒートアップしていくのである。

大場：「カニムシはあんなに小さいのにサソリみたいな型をしているんですよ！凄いといませんか！？」

山田：「カニムシ（5mm以下）がヤシガニ（約40cm）くらいの大きさだったらカッコイイけどなあ！カニムシなんか小さすぎて見えないじゃん！」

佐野：「でも確かに、ムツボシツヤコツブゲンゴロウとかシマゲンゴロウが普通のゲンゴロウくらいの大きさであればもっと採った時の感動は大きいですよ！」

山田：「そうだよ！やっぱりデカイ方が感動もデカイしカッコイイよ！」



大場麻衣

しかし、この二人の発言に対し、大のミジンコ好きとして知られ(?)小さい生き物への愛は誰にも負けないことを主張してきた成島氏が黙っていなかった！

成島：「大きい生き物は可愛くないです！こんな小さいのに何でこんな複雑な型とか模様をしているの？とか、そのギャップがいいんです！」

大場：「分かるーっ！！そこがカワイイんだよねえ！それを顕微鏡で見つけた時こそ感動があるんですよ！」

山田氏と佐野が圧倒されていると、さらに滝本氏が追い打ちをかけてきた。

滝本：「例えば、トビムシはあんな小さいのに凄いジャンプ力なんですよ！人間のサイズでいったらマンションを飛び越えられるんですよ！例えばトビムシを人間のサイズに考えて計算すると...」

大場：「タッキー（滝本）分かりにくい！」

滝本：「はい...」

滝本氏の意見は大学の先輩である大場氏によってあっさりとかき消され、勢いをつけた山田氏が反撃に出た。

山田：「じゃあ、もしカニムシがヤシガニくらいでミジンコ（約1mm）がゲンゴロウ（約4cm）くらいの大きさだったらどうする？」

大場、成島：「可愛くない！気持ち悪いです！怖い！」

成島：「小さいから気持ち悪い生き物でも可愛いんですよ！アタシは獣が苦手ですけど、もし1mmくらいだったら凄く可愛いと思います！」

大場：「そうそう！大きいと気持ち悪い生き物でも、小さいと、小さいクセにこんな型してるんだ！とか、小さいのに頑張ってるみたいでそこがカワイイじゃないですか！」

成島：「凄い！大場さんアタシと同じこと思ってる！！凄くよく分かります！！キャー」

今日初めて会った二人が意気投合した瞬間である。強力な女性陣連合が大きな生き物の魅力を圧倒していく。

佐野：「でも小さいと種の判別が不便じゃない？水生昆虫でも小さいのいるけど、いちいち顕微鏡見ないと同定できない虫はいくら珍しくてもイマイチ魅力湧かないなあ～。採ったその時の感動が味わえないよ！」

滝本：「確かにそれはありますね！あと珍しい生き物を採った時の感動は大きい生き物の方が魅力あるかもしれないです！」

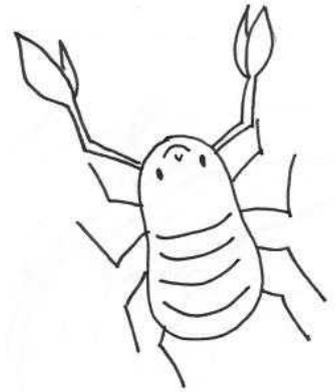
山田：「滝本くんもやっぱり大きい生き物の方が好きなんじゃない（笑）」

滝本：「いや！でも小さい生き物も良いですよ！（笑）種類によるかもしれないですね。小さい方が魅力的に感じる種もいれば、大きい方が魅力的に感じる種もあります！」

滝本氏の言うことはもっともである。佐野は秘かにそう思った。しかし、滝本氏の裏切りに憤怒する（？）大場氏・成島氏の両氏がさらなる極論をとなえ核心に迫ってきた。

大場：「小さい生物は世界を制するんですよ！ミジンコとか土壌生物がいるから大きな生き物たちは生きられるんですから！」

成島：「そうです！もし小さい生物が滅びたらすべてが滅びるんだから！だからこそ小さい生き物は大きい生き物より個体数も多いし身近にみられる！観察しやすい！」



大場麻衣

しかし、最後の成島氏の発言を佐野は聞き逃さなかった。

佐野：「でもだから大きい生き物の方が個体数も少ないし採る感動があるんじゃない！」

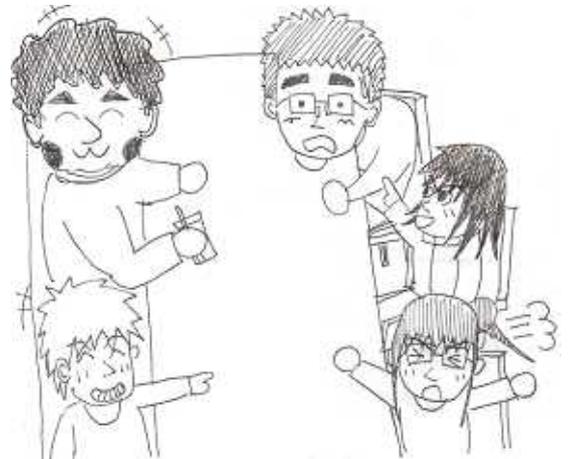
成島：「カチン（怒）小さい生き物の方が分からないこといっぱいあるから感動はいっぱいあるし!!」

成島と佐野がバトルになる寸前で、半分飽き始めていた言い出しっぺの山田氏がズバリと意見をたたきつける。

山田：「まあ、小さいのも大きいのもどっちもイイ所あるってことだよ～」

全員：「・・・（絶句）」

成島：「今までの熱い討論はなんだったんですか...」
こうして適当な...、いや。冷静な山田氏の素晴らしいまとめにより本座談会は幕を下ろした。読者の皆様は小さい生き物と大きな生き物、どちらに魅力を感じるだろうか？気になるところである。



佐野真吾

琉球生き物紀行 ～ 美ら島の生き物たち～



会員の皆様こんにちは。いつも私の侍従川生き物図鑑をご覧頂きましてありがとうございます。既にご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、私、熊井は今年の春から沖縄へ移住致しました。本来ならば侍従川の生き物についての記事を連載させて頂きたかったのですが、撮りためていました写真を全て使い果たしてしまいました。誠に勝手ながら今号からは私が暮らしている沖縄県の生き物の記事を書かせて頂く事になりましたので、何卒宜しくお願い致します。

侍従川に親しむ会 学生部OB 熊井 健



～ アカマタ ～

- ・ 学名：Dinodon semicarinatus ・ 体長：80～200センチ
- ・ 分布：沖縄諸島、奄美諸島

沖縄県で最も普通に見られる大型のヘビで2メートルほどの個体に威嚇されるとけっこう怖いです。南部の那覇市のような都市部でも姿をみることができ、他のヘビと比べ人里環境にもっとも適応しているといえます。

その奇抜な模様から一見毒を持っているかのように見えますが、全くの無毒です。主な食べ物はカエル、鳥、小型の哺乳類、爬虫類と飲み込めるものならなんでも食べ、その貪欲さは南西諸島最強の毒ヘビのハブさえ丸呑みにするほどです。

またこのヘビは夜間砂浜を徘徊し、ウミガメが砂の中深くに産んだ卵を臭いで探知し、捕食するといった変わった生態を持っています。この生態を持つ個体群は北部の国頭村の一部だけ生息しているそうです。



撮影地：国頭村北部、本部町

監修) 熊井 健

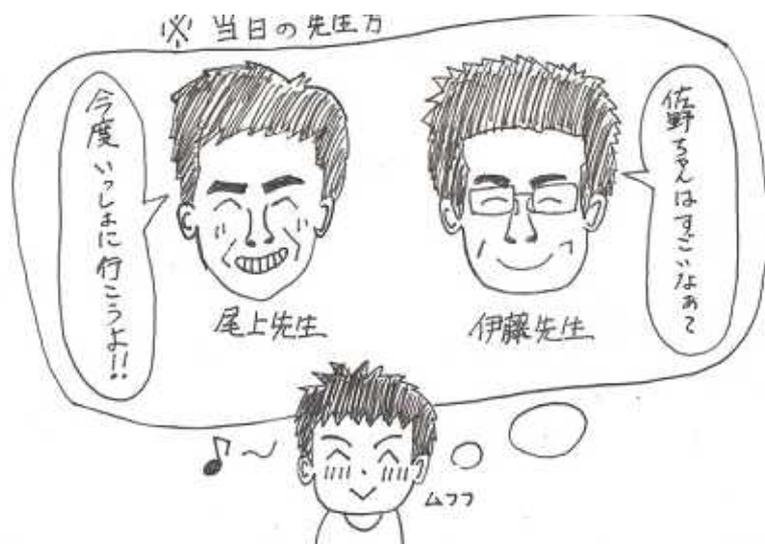
佐野真吾が語る侍従会の思い出

～『目標』とは、立てるもの。『夢』とは、～したいこと?～

「～したい!」とか「～をやりたい!」というのを常に持っている人って、いつもイキイキしている人だと思いませんか?そして、したい事ややりたい事のスケールが大きかったり、計りきれなかったりすると、その人が、尚更魅力的にみえたり、興味深く感じたり、一緒に活動してみたくなったりするのではないのでしょうか?今回はそんな人たちのことをお話したいと思います。

2000年7月下旬のことです。中学1年生になって初めての夏休みです。しかし、この年は出だしから少し違いました。7月中旬の夜、学生部隊長の山田さんから1本の電話がかかってきたのです。「期末テストはもう終わった?7月最後の土日、『いきもの体験博物館』っていうのに侍従会も出展するんだけど、サノシン生き物展示してくれない?」この時、私の扱いが上手な山田さんには、「サノシンが珍しい生き物を展示してくれると凄い盛り上がるんだよなあ～」というようなことを言われた記憶があります。おだてに乗りやすい私は、「展示の依頼だ!仕事で虫とりだ!」と、やる気満々になりました。こうして、『博物館で展示する生き物を採りに行く』という大義名分も得て、7月20日から4日間、両親に岐阜県・滋賀県・福井県まで連れて行ってもらい、虫とりを楽しんできました。もちろん展示するための虫をたくさん採集して!

そして迎える7月最後の土日、私は旅行で採ってきた生き物を抱えワクワクしながら会場に向かいました。博物館の会場は東京ガス環境エネルギー館です。ここで私は自分の採った生き物を博物館に展示してもらえるとという満足感に浸ることができました。しかし話はそれで終わらず、この日は、のちに私に多大な影響を与えてくださる人たちとの出会いも待っていました。それは、この時私以外に生き物を出展されていた、色々な小・中学校の先生方の存在です。そしてそんな先生方の一員であったのが、侍従会のみなさんもよくご存じ、尾上先生や伊藤先生でした。



優しそうな口調で「佐野ちゃん、よくこんな虫採ってきたねえ～。横浜では採れないでしょう?」と、褒めまくる伊藤先生。そして、「今度千葉に虫とり行こうよ!新潟も連れて行ってあげたいなあ～!何でもいるから!」と、私の興味を最大限まで引き立てる尾上先生。先生方との最初の出会いはこんな感じであったと思います。そして、私の頭には、横浜にはこんなに面白い人たちがたくさんいるんだ!と、震えるほどワクワクする強烈な印象がインプットされたのでした。

それからというもの、先生方が集まる活動には必ず参加しました。子ども会議・環境セミナー・千葉の虫とり・サケの観察など、先生方に相手をしてもらえるのも嬉しかったですし、自分がその輪に入れることや、やりたいことを一緒にできるということが私の心をワクワクさせたのです。そして、「～やりたい!」、「次は～をやろうよ!」という思いをいつも持っている先生方は、私にとって本当に魅力的で、次の活動を期待させる不思議なパワーを感じさせました。

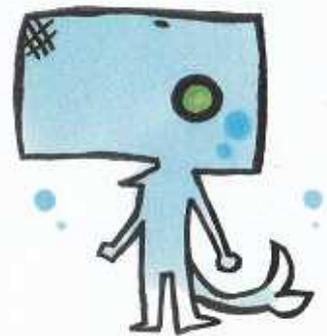
2009年10月3日、9年前に尾上先生が「新潟も連れて行ってあげたいなあ～」と話してくださった約束の地(?)新潟で、久しぶりにゆっくりとお話することができました。話の内容はすべて、「これからやりたいこと」です。思えば、尾上先生も他の先生方も常に「やりたいこと」を持ってらっしゃる方たちであったことに気づきます。侍従会学生部隊長の山田さんもそうでした。私が憧れる人たちはみんな「～したい」という気持ちの強い人たちで、非現実的で途方もないところまで妄想していて、言い出したら行動を始めてしまう人ばかりです。でも、それこそが大切で、『夢』というものなのではないでしょうか。尾上先生との会話の中で...

尾上先生「佐野ちゃん将来はどうするの?」

私「研究者とか学芸員には憧れますけど、なれなかったら他を考えます。将来は虫が続けられて、保全活動とかに関わり続けられれば...」

尾上先生「そうだよ!それが大事なんだよ!学芸員になって終わりじゃないんだよね!」

『目標』とは、立てるもの。『夢』とは、～したいこと。...
なんでしょか?笑



関 有加里

『佐野真吾が語る侍従会の思い出』 つづく



それゆけ

激突！山田くん

～対 動物編～

完全復活！？



「ニホンマムシ」の巻（続き）

「もういいですよ、退院しましょう」…今日こそは先生からその言葉ができるのではないかと期待を寄せて早四日目…とにかくボクは元気なのだ。いい子にしているから早く退院させろ…いや退院させてくださいと、焦りとフラストレーションで荒れる心を抑えて、毎日懇願したのだが、「ダメです」の一点張りだった。「明日は大事な仕事があるのです。今日、退院お願いします」と涙目でもお願いしても、医師の鉄の意志は覆せなかった。

五日目の朝…4時30分。今日はS小学校の宿泊体験学習の引率。早く退院できれば間に合う…。で、ナースステーションに「今日は約束の日…」「まだ早いですよ!!」と怒られた。で、その後幾度となくナースステーションをのぞきに行く。すると「待っててくださいっ!!!」とまた怒られた。ボクの入院生活は看護士に怒られることから始まり怒られることに終わった。

結局9時過ぎてやっと退院できた。入院費を清算すると5万円!! イタイ!! マムシに咬まれて一番痛かったのは入院費だった。トホホ… 入院費のカンパありがとうございました。

見舞いの品が多く、とても電車で帰れないのでタクシーで帰った。途中マムシを預けてあるY小学校に寄ってから（笑）宿泊体験学習の準備をして、いざ愛川へ!…

しかし遠い…合流するためには本厚木駅からタクシーを使わなければならない…5800円! イタイ!! 痛い思いをしてやっと愛川にたどり着いた山田にはさらなる痛い生き物が… つづく



侍従川定例調査報告 学生部

10月4日(日) 晴れ

参加者：金沢自然探検隊、山田(陽)

【大道橋～大道東橋】10:30～14:00

生き物：カルガモ、コサギ、カワセミ、コイ、キンギョ、ウグイ、ボラ、メダカ、チチブ、ウキゴリ、スミウキゴリ、ピリンゴ、マハゼ、ミゾレヌマエビ、クロベンケイガニ、モクズガニ、アメンボ、ハグロトンボ(幼虫)、オニヤンマ(幼虫)、コシボソヤンマ(幼虫)、ガガンボsp(幼虫)、ヤマトクロスジヘビトンボ(幼虫)、カワニナ

備考：金沢自然探検隊の侍従川探検の時の採集データによる。

トピックス

9/3(木) 大道小学校「侍従川クリーン大作戦」全校一斉侍従川清掃が行われました。相川会長、山田(陽)が参加。

9/12(土) 「秋の森探検」雨天中止。

10/2(金) 柏尾小学校4年生に野島の海の生き物を山田(陽)がレクチャー。

10/4(日) 「金沢自然探検隊」侍従川を山田(陽)がガイド。

10/10(土) 関東学院大学のシンポジウムで、侍従会立ち上げの頃の実践を尾上先生が講演。

11/6(金) 石川小学校4年生に侍従川の源流～海までを山田(陽)がレクチャー。

11/8(日) かながわ友遊まちづくり(於 神奈川小学校)に、ミニ葦船・ヘビ&カメを出展。竹内、島村が対応。

11/8(日) 「金沢自然探検隊」朝比奈の森を山田(陽)がガイド。

11/22(日) 学生部侍従川定例調査が雨天中止。

11/27(金) 「ふるさと大道の風景をつくる会」

NPO 上総掘りをつたえる会を講師に迎えて講演会(於 大道コミュニティハウス)

12/3(木) 笠間小学校4年生に侍従川の源流～海までを山田がレクチャー。



事務局だより

事務局運営委員 長橋

1月～2月の活動予定

1 / 9 (土) ネイチャークラフト教室 9:00～15:30頃 大道小学校集合

1 / 24 (日) 定例クリーンアップ 9:00～12:00頃 ちとせ園集合

2 / 27 (土) エコフォーラム 横浜市立サイエンスフロンティア高校 (予定)

2 / 28 (日) 定例クリーンアップ 9:00～12:00頃 ちとせ園集合

定例クリーンアップは、雨天の場合、翌週日曜日に行います。

共催行事 葦船学校～葦船づくり～ 主催 横浜市立大道小学校

1 / 16 (土) 事前葦刈り 13:00～16:00 大道小学校集合

1 / 23 (土) 葦選別 13:00～16:00 大道小学校集合

1 / 24 (日) 葦束作り 13:00～16:00 大道小学校集合

1 / 30 (土) 葦船建造～パーツづくり～ 9:00～16:00 大道小学校集合

1 / 31 (日) 葦船建造～完成～ 9:00～16:00 大道小学校集合

学生部の活動

1 / 16 (土) 1月度侍従川定例調査 9:00～12:00 大道小学校集合

2 / 28 (日) 2月度侍従川定例調査 13:00～17:00 大道小学校集合

ふるさと大道の風景をつくる会

2 / 7 (日) ヨコハマ市民まち普請事業 2次コンテスト 10:00～17:15 (予定)
コンテスト終了後、交流会 17:30～18:10 (予定)

ヨコハマ・クリエイティブシティ・センター3F (みなとみらい線「馬車道」駅上)

活動の詳細 (持ち物など) は、別途配布の活動予定又はホームページをご覧ください。

編集後記

今回から新たに2つの連載が始まり、益々パワーアップした会報を楽しんでいただけたでしょうか。今年もあとわずか、みなさんどうぞ良いお年をお迎えください。(MK)

ふるさと侍従川に親しむ会 事務局

金沢区六浦5 - 23 - 26

長橋 輝明

TEL&FAX: 781-4042

e-mail: jr-nagahashi@seapple.icc.ne.jp